

第45回 五條市地域公共交通会議（要点録）

日時：令和8年2月24日（火）

午後1時30分～午後2時50分

場所：五條市役所2階 災害対策室

出席委員	五條市副市長	福塚氏（会長）
	五條市自治連合会 副会長	丸山氏
	五條市自治連合会 副会長	丹原氏
	宗桧上地区自治連合会 会長	巽氏
	大塔地区自治連合会 会長	住谷氏
	奈良運輸支局 首席運輸企画専門官	柏原氏（代理）
	奈良県 リニア・地域交通課 主事	磯田氏（代理）
	奈良県バス協会 専務理事	岩崎氏
	奈良県タクシー協会 専務理事	葛城氏
	奈良交通株式会社 乗合事業部 課長	堀川氏（代理）
	五條二見交通株式会社 代表取締役	油谷氏
	奈良県 五條土木事務所 計画調整課	北村氏（代理）
	西日本旅客鉄道(株)阪奈支社 地域共生室	杉田氏
	奈良県 五條警察署 交通課	牧瀬氏（代理）
	奈良県交通運輸産業労働組合協議会	
	幹事代理	岡田氏（代理）
	五條市 あんしん福祉部 地域包括支援センター	
	所長	西村氏（代理）

1 【開 会】

(会長挨拶)

○福塚会長

本日の議案（報告3件、協議1件）についての周知

2 【議 事】

(協議会成立の報告（出席者16名：委員の過半数の出席による）)

報第1号 令和8年度運賃負担低廉化事業の継続について

○福塚会長（議長）

はじめに、報第1号「令和8年度運賃負担低廉化事業の継続について」を議題といたします。事務局から報告を求めます。

(事務局説明)

○福塚会長（議長）

只今の報第1号、「令和8年度運賃負担低廉化事業の継続について」何か御意見・ご質問はありませんか。

○油谷委員

増加した「12%」という数字の捉え方をどう考えるのか。予算を取るうえで、この数値をOKと捉えて維持するためのものか、もしくは、例えば「20%」であったり、さらなる増加、利用促進を目指すものか、どのようにお考えか。

○福塚会長（議長）

12%はあくまでも結果である。引き続き、利用促進を図りたい、また、物価高騰が進む中、利用者の負担を軽減したいという趣旨のもと、事務的な煩雑さがなく、また、交通事業者にも理解が得られる方法として、継続していきたい。

○油谷委員

同様の進め方であれば、同様の結果になると思う。その費用対効果をどのように考えるのか。この取り組みの効果は12%が上限ということであれば、あわせて、違う方法のアプローチも考えられると思う。

○福塚会長（議長）

意見として承る。

○丸山委員

令和5年度において、10月、11月での増加理由を教えてください。

○事務局

五條高校の利用者が寄与していると考えられる。8時台に五條高校に向かう便があり、高校生の中で利用が浸透したものとする。このほか、乗降場の増設等の利用改善の効果もあると考えられる。

○福塚会長（議長）

ほかにご意見がなければ、ただいまの報告について、承認いただいたものとします。

報第1号は原案のとおり承認。

報第2号「五條市中心市街地活性化事業の進捗報告について」

○福塚会長（議長）

次に、報第2号「五條市中心市街地活性化事業の進捗報告について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○（事務局説明）

○福塚会長（議長）

：五條市中心市街地活性化事業の中で、五條バスセンターの解体、JR 五条駅でのバスターミナルの設置も踏まえ、ルートや料金が変わったりするところもあり、この場で議論していただくことも出てくる。煩雑なところもあったかと思うので、確認があれば、お願いしたい。

○福塚会長（議長）

只今の報第2号「五條市中心市街地活性化事業に伴うコミュニティバス等運行計画の変更について」何か御意見・ご質問はありませんか。

なければ私から質問する。五條バスセンターの解体後、南側の仮設バス停については、設置が遅れるとの話があった。どれくらいの期間を見込んでいるか。

○事務局

2週間程度を見込んでいる。

○福塚会長（議長）

その期間は乗降もできないということか。

○事務局

南側の仮説バス停については、現行の五條バスセンターの前に設置することになる。解体後に道路工事を行う必要があり、その間は停留所自体が設置できないため、乗降もできないものとなる。

○福塚会長（議長）

承知した。ほか、意見や質問がないようであれば、本報告について、ご了承をいただいたものとする。

報第2号は原案のとおり承認。

報第3号 令和7年度地域公共交通改善の取組について

○福塚会長（議長）

次に、議第1号 令和8年度地域公共交通確保維持事業計画（案）についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○（事務局説明）

○福塚会長（議長）

盛りだくさんであり、煩雑なところもあったかと思うので、確認があればお願いしたい。趣旨としては、少しでも使ってもらうためのサービスを考え、実証していこうというものである。なお、正式なスタートを令和9年度と想定するものであるか。そのために令和8年度に実証運行を行ったうえで、この会議に諮っていきたいという趣旨でよいか。

○事務局

そのとおりである。

○奈良交通 堀川氏（委員代理）

奈良交通の五條城戸線の減便に関する説明があった。西吉野農業高校での折り返しを前提となるが、降雪により西吉野農業高校に入れない場合、バスを転回させる場所がなく、始発のバス停から運休を強いられることになる。対策等と合わせて、ご検討いただきたい。

○福塚会長（議長）

事務局で検討のうえ、交通事業者と調整いただきたい。

○丸山委員

意見交換会について、調整中となっているものの時期ははっきりしているか。

○事務局

3～4月に実施する方向で調整中である。

○丸山委員

各地区の理事に相談してほしい。

○事務局

地区ごとの連合自治会長と調整を進めている。意見交換会については、3～4月に開催予定の総会等も活かしながら、進めていきたい。

○福塚会長（議長）

ほか、意見や質問がないようであれば、本報告について、ご了承をいただいたものとする。個別に質問等が発生した場合は事務局に問い合わせいただきたい。

報第3号は原案のとおり承認

議第1号 ゴーちゃんタクシーの改善について

○福塚会長（議長）

次に、議第1号 ゴーちゃんタクシーの改善についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○（事務局説明）

○福塚会長（議長）

利用する方の利便性を考え、サービスのあり方を見直し、停留所を増やしていきたいという趣旨である。本案件については議題として承認をいただき、令和8年4月から運行を開始したいという趣旨である。

○丸山委員

なつみ台は自治会がない。なつみ台に対しては、市は誰と話をしているのか。

○事務局

田園公民会で地域の方に説明した際、困りごとの声を聞いた。その際に、なつみ台に対する意見もあり、それをもとに総合的に判断して提案に至っている。

○丸山委員

自治会がない地域が連合会を通さずに、市に直接に依頼を行うというプロセスは問題なのか。市の住民として、協力して取り組んでいくとの考え方であるが、自治会も持たず、協力関係を構築しない地域が独自に要望だけを通すのは疑問を持っている。

○福塚会長（議長）

ご指摘の点については問題として理解し、意見として承っておく。

○油谷委員

今回はさておき、次回以降、なつみ台から要望があった際のプロセスについては確認しておいた方がいいのではないか。

○丸山委員

全員とは言わないが、少しでも参加してほしいという思いがある。

○福塚会長

地域公共交通会議として、市全体の地域公共交通をよくしたいという話の中で、自治会の参加有無によって本会議の結論が変わるとするのは望ましくないと思う。

○丸山委員

関連するものと思う。

○福塚会長

自治会の発足に関しては、なつみ台だけの問題だけでなく、市全体の問題として、広報等を通して声掛けを行っている。

○丹原委員

HP や目安箱など、今回諮られた取組に対する利用者の意見が聞けるような方法はあるのか。

○事務局

利用している方、利用できていない方の意見も大事だと思う。検討していきたい。

○福塚会長

ほか、ご意見がないようであれば、事務局で申請を進めてよいか。

○一同：問題ない。

議第1号は原案のとおり承認

その他

○福塚会長（議長）

そのほか、委員の皆さま何かございませんでしょうか。

○丹原委員

自動運転の取組が全国的に盛んに感じる。五條市でもどこかの地域で実装できたりすると、楽しくなっていくと思う。

事務局連絡

○事務局

地域公共交通の改善については、今回示した内容を基に、令和8年10月からの実証運行を目指すこと。

ゴーちゃんタクシーの改善については、令和8年4月からの運行開始に向け調整すること。

五條市中心市街地活性化事業については、委員の皆様にも引き続きご報告すること

を周知

【閉 会】

○福塚会長

（閉会挨拶）